



平成 30 年度

まちづくり応援補助金

活動報告書



目次

平成30年度 まちづくり応援補助金 活動報告書

- 比婆山を中心とした歴史や文化、自然のガイド
比婆山伝説ガイド・ツイハラ研究会・・・1
- 国定公園帝釈峡の魅力を全国発信・帝釈峡小唄再生装置設置
帝釈峡ルネサンス会議・・・・・・・・・・2
- 庄原九日市推進事業
九日市愛好会・・・・・・・・・・3

1 団 体 名	比婆山伝説ガイド・ツイハラ会	
2 事 業 名	比婆山を中心とした歴史や文化、自然のガイド	
3 事 業 費	680,971 円（うち補助金：362,000 円、自主財源 318,971 円）	
4 事 業 内 容	<p>地域資源である比婆山を地域内外へPRし、地域振興につなげるため、まちづくり応援補助金を活用して備品の整備、登山ガイドの育成や紙芝居の上演を実施した。</p> <p>① 備品 トランシーバー、山でのトイレ及び着替え用簡易テント、救急セット、GPS、作務衣（紙芝居上演ユニフォーム）、プロジェクター、スクリーン、キャビネット</p> <p>② 主な活動（2019年1月～12月） 定例会でのガイド割当てと研修計画など（10回）、紙芝居「古事記神話の山 比婆山物語」（9回上演）、ガイド（6回）、研修（12回）、その他会議（4回）、新たな観光資源（文化財）の調査・発掘（熊野権現縁起絵巻、神籠岩など）</p>	
5 波 及 効 果	<p>トランシーバー、GPSの整備は、団体登山の安全を確保するための大きな役割を果たしており、受け入れ体制が充実したことにより、安全で安心、快適な登山が可能となった。さらに、紙芝居の上演においても、画像・音響・作務衣により、分かりやすく見やすい雰囲気づくりにつながり、特に時悠館での3回の上演は、比婆山の歴史・文化を市内外に発信でき、今後の活動の発展も期待できる。また、定例会を継続して開催したことにより、会員の結束を図り、より安全で分かりやすい登山ガイドに努めることができた。</p> <p>紙芝居上演に合わせてプロジェクターを使用し、出向いた地域の神社を中心とした歴史をわかりやすく説明することができた。伝説ガイドに加えて、比婆山地域の植生を研修することで、多様なニーズを持つ観光客へのサービスに努めることができた。</p> <p>特筆すべきは、時悠館の企画展において展示された熊野神社宮司所有の熊野権現縁起絵巻が、文化財に匹敵する価値を持つ財産ではないかと考えられることである。その他、地域の古老から聞き取りをした神籠岩や、西城町大屋から比和町三河内に流れる水路の現地踏査を行った。これらについては、一般公開に向けた調査研究などを専門家の指導の下に行っている。</p> <p>以上の活動により、登山ガイドに留まらず、子どもや地域住民、比婆山や熊野神社に訪れた人に、比婆山信仰圏の魅力をより効果的に伝えることができつつあると感じている。</p>	
6 活 動 写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>登山ガイド</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>紙芝居（県民の森）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>研修（植物観察会/熊野神社定点観察会）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>三河内の神籠岩（コウゴウイワ）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>熊野権現縁起絵巻</p> </div> </div>	

1 団 体 名	帝釈峡ルネサンス会議
2 事 業 名	国定公園帝釈峡の魅力为全国発信・帝釈峡小唄再生装置設置
3 事 業 費	934,564 円（うち補助金：467,000 円、自主財源 467,564 円）
4 事 業 内 容	<p>国定公園帝釈峡を中心とした観光交流人口の増加を目指し、まちづくり応援補助金を活用して「帝釈峡小唄の再生装置」を整備するなど、帝釈峡の魅力为全国に発信するための事業を実施した。帝釈峡小唄は、その原詩を詩人・白鳥省吾が昭和 13 年に詠み、昭和 33 年に作詞・赤松月船、歌・島倉千代子で発売された歌である。</p> <p>① 歌碑の維持管理と周辺環境整備 白鳥省吾の歌碑、説明版、置石、砂利の整備と芝生の手入れ</p> <p>② 帝釈峡小唄の再生装置設置 歌碑の横に押しボタン式の再生装置を設置</p> <p>③ 帝釈峡小唄フェスティバルの開催（セレモニー、ステージショー）</p> <p>④ 白鳥省吾賞作品募集（詩） 口語自由詩 テーマ「自然」「人間愛」 庄原市、神石高原町の児童、住民から作品を募集した。（児童 2 名、一般市民 3 名から応募）</p> <p>⑤ 関係機関との連携強化 帝釈峡観光協会、庄原市観光協会、庄原市、神石高原町へ、歌碑の設置場所を観光ルートへ加えるよう働きかけを行った。</p> <p>⑥ 帝釈峡小唄の全国発信 帝釈峡小唄の歌と踊りを YouTube で公開した。</p>
5 波 及 効 果	<p>帝釈峡小唄フェスティバルには、関係者を中心に 30 余名が参加し、一般観光客も観覧され、帝釈峡小唄を広く周知することができた。イベント終了後も帝釈峡小唄再生装置から歌が途切れることなく流れていた。その後、再生装置のを知り、興味を持った観光客が訪れている姿が見られている。再生装置の整備、イベントの開催のほか、白鳥省吾賞作品募集などを通して、帝釈峡小唄に関わる白鳥省吾、赤松月船、島倉千代子の熱い思いを伝えながら、文化都市庄原の存在を広めることができたと感じている。</p>
6 活 動 写 真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>歌碑と帝釈峡小唄再生装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>帝釈峡小唄の踊り</p> </div> </div>

1 団 体 名	九日市愛好会
2 事 業 名	庄原九日市推進事業
3 事 業 費	295,922 円（うち補助金：198,000 円、自主財源 97,922 円）
4 事 業 内 容	<p>庄原市街地の空き店舗の利用と市街地活性化を図るため、天正年間に物々交換から始まり、戦争で途絶えていた市（いち）を復活させた「庄原九日市」を 2001 年から開催している。（毎月 9 日に開催）</p> <p>出店数が 50 店舗を超える時期もあったが、近年は 30 前後の店舗数での開催となっている。</p> <p>この度、出店数や来客数を増やす取り組みを進めるため、まちづくり応援補助金を活用して、情報発信とリーフレットの作成、検討会議に取り組んだ。</p> <p>① ホームページのリニューアルと SNS 等による情報発信</p> <p>出店者と協同してホームページを作成し、その構成は、「告知」「開催風景」「歴史」「九日市音頭」「出展者紹介」「出店申込」とした。Twitter による情報発信を行った。新聞への折り込みチラシを実施した。旅ガイド「備北のかがやき」へ広告を掲載した。</p> <p>② リーフレットの作成</p> <p>リーフレット（A4 両面カラー）を 5,000 部作成し、市内・市外に幅広く配布した。</p> <p>③ イベントの実施</p> <p>出演者を呼んでのイベント（歳の市・骨董まつり）を実施し、餅まきを行った。</p>

5 波 及 効 果	<p>イベントの実施により、冬季という客足の遠のく時期にあっても、42 店舗の出店と 1,000 人規模の来場者があった。これにより、これまでと比べて 110%～140%の売り上げを達成した店舗もあった。より若い層の新規出店と新規客層の誘引ができたと感じている。関連イベントとして、「うた声喫茶」の無料デイを開催したが、これをきっかけに来場者が大きく伸びた。</p> <p>これらのことから、イベントの実施が乗数効果的な影響を期待できることを示しており、継続した投資の実効性が明らかになった。</p> <p>また、事業推進のための継続的な会議を開催することもでき、将来展望を含んだ議論ができた。会議には新たな人材や県立大学の学生も参加している。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 活 動 写 真	<p>平成 30 年 12 月 骨董市の様子</p> 
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------